



東京女子医科大学腎臓病総合センター泌尿器科

Tokyo Women's Medical University
DEPARTMENT
OF UROLOGY

IVP(DIP) 検査を受けられる患者様への説明文書

■IVP(DIP) 検査とは？

造影剤という薬を静脈注射して(DIP の場合は点滴しながら)腹部のレントゲン撮影を数回行う検査です。時間は 30 分ぐらいですが、病状により追加の撮影、立った状態での撮影や排尿後の撮影などお願いすることもあります

■IVP(DIP) 検査で何がわかるの？

静脈注射(DIP の場合は点滴)した造影剤は、腎臓より排泄されます。使用する造影剤は、CT や血管造影などで使うものと同じです。レントゲン撮影すると、排泄された造影剤が白く見え、それにより腎臓、尿管、膀胱の情報がわかります。結果によって、精密検査が必要になることもあり、泌尿器科の重要な検査のひとつです。

■IVP(DIP) 検査前の食事や水分は？

午前の検査の場合……朝食はとらないでください。
午後の検査の場合……昼食はとらないでください。
水やお茶は、普通の量なら飲んでいただいてもけっこうです。
なお、緊急の場合は、絶食なしで行うこともあります。

■服用中の薬は？

医師の指示がない限りそのまま服用してください。

■IVP(DIP) 検査の副作用について

以前と比べて少なくなりましたが、副作用として、吐き気、皮膚のかゆみや発疹、動悸や血圧低下などの症状が、静脈注射(DIP の場合は点滴)中や静脈注射(DIP の場合は点滴)後認めることがあります。きわめてまれですが、ショックや意識消失の報告もあります。検査中や検査の後に、何か異常があるようでしたら医療スタッフにお知らせ下さい。

まれに、検査の後、数時間以上たってから、じん麻疹、かゆみ、血圧低下などの症状が出る場合もあります。そのようなときには時間外外来を受診して下さい。

不明な点がありましたら、主治医、担当医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来までお知らせ下さい。

Tel. 03-3353-8111(代表)

DIP検査を受けられる患者さんへの説明文書

東京女子医科大学泌尿器科学教室

Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、処置に同意します。

平成 年 月 日 患者氏名

患者家族氏名

その他、特に説明した内容

a)

-

b)

-

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医